

表 IMFによるウクライナへの支援

承認日時	拠出体系	承認額 (単位:ドル)	備考
1998年9月	EFF	25億	2002年9月までに15億3,400万ドルが拠出されたが、2002年度の予算執行状況、VAT債務問題の解決、燃料エネルギー分野の改革、州ごとの電力配電会社の民営化の完遂など、IMFの提示する諸条件を満たさなかったため終了した。
2004年3月	SBA	6億	ウクライナ政府が同プログラムによる融資を利用しなかった。
2008年10月	SBA	164億	2009年11月までに3回に分けて106億ドルが拠出されたが、4回目以降は2010年の大統領選挙に起因する混乱により拠出されなかった。
2010年7月	SBA	151億	2011年3月までに2回のトランシェが実施されたが、3回目のトランシェは家庭用ガス料金の値上げなど、IMFが求める諸条件を満たしていないことを理由に、実施されないまま期限切れとなった。
2014年4月	SBA	170億	2回のトランシェで46億ドルが拠出された。
2015年3月	EFF	175億	2017年4月までに4回に分けて合計87億ドルのトランシェが実施された。5回目以降は反汚職裁判所の設置や民営化改革の促進、家庭用ガス料金の値上げなど、IMFが求める条件を実現できず、実施されなかった。
2018年12月	SBA	39億	第1トランシェは約14億ドル。2回目以降も2019年に実施される予定だったが、選挙をめぐるウクライナ内政の混乱などのためIMFのレビューが進まず、行われなかった。
2020年6月	SBA	50億	新型コロナウイルス対策などのために18カ月にわたってのトランシェが決定された。第1トランシェは21億ドル。

(注) EFFとは拡大信用供与ファシリティのこと。

(出所) IMFプレスリリース、在ウクライナ日本大使館「ウクライナ概観」などを基にジェットロ作成